

4 4年間（R6～R9）の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自立と社会参加」をめざし、児童生徒一人ひとりのニーズに対応した授業を実践する。 ○ カリキュラムマネジメントの視点を踏まえ、教育課程の改善に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを組み合わせた授業づくりを行う。 ・中央農業高校と連携した交流及び共同学習を教育課程の中で明確にする。 ・授業改善をもとに日課表を見直し、教育課程の工夫・改善を行う。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個に応じた多角的、客観的なアセスメントによる実態把握に基づいた指導・支援の充実を図る。 ○ 教育活動全体で人権尊重の視点に立った学校づくりに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントの情報提供や研修を行い、教職員の児童生徒理解の力を高める。 ・高い人権意識をもち、配慮や手立ての情報共有を行い、チームアプローチを意識した協働支援体制をつくる。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒のニーズや適性に応じた、自己選択・自己決定のための継続した指導・支援に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部から高等部までの進路学習の系統性を確認・改善し、学習活動を展開する ・人や社会との関わりを大切にしながら、主体的に学ぶ学習活動を行う。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○ コンサルテーション機能の充実を図り、地域におけるインクルーシブな学校づくりに寄与する。 ○ 児童・生徒が地域で豊かに暮らし、働くことにつながる教育活動を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と本校の資源をお互い活用し合い、センター的機能を通じて学校等を支援する。 ・居住地交流、学校間交流を計画的、組織的に推進する。 ・地域の資源を活用した作業学習等を充実させる。 ・ホームページ、Instagramなどを活用し、特別支援教育に関する発信を行う。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全・安心な教育環境の整備に取り組む。 ○ 教職員の人格的資質・指導力・専門性の向上を目指し、人材育成に重点においた学校運営と組織づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実効性のある防災訓練や研修を通して教職員に徹底を図る。 ・医療的ケアの安全な実施と通学支援を行う。 ・校内研修の充実とOJTを実践し、教職員が主体的に学ぶ体制を構築する。